

NICU・GCUにおけるファミリーセンタードケア に対する医師・看護職の意識調査

NICU・GCU

発表者○安藤菜摘紀

馬田麻友美 山本 房美 鈴木 文野
藤原かをる

はじめに

NICU・GCUでは、児の出産直後より親子分離状態になり、家族として発達していく過程が阻害されてしまう。そのため、看護職を中心に家族支援に力を注いでいるが、それがケアとして家族の望むものが提供できているかの評価はできていない。

そこで、ファミリーセンタードケア(以下FCC)という概念を当病棟に取り入れ、子どもと家族を中心としたケアの提供を試みようと考えた。FCC実践には看護職のみならず医師も共働する必要があるため、今回はFCCに対する医師・看護職の意識や行動について現状を明らかにした。そして今後の課題を見出すことができたため、ここに報告する。

【用語の操作的定義】

ファミリーセンタードケア(FCC)

浅井や木下の文献を参考に「医療者と家族は対等関係であり、医療者は家族のニーズに基づいて、子どもと家族を中心としたケアを行う。『尊厳と尊重』『情報共有』『参加』『協働』の4要素から成り立つ。」と定義した。

I. 研究目的

今後FCCを取り入れより充実させていくために、医師・看護職のFCCに対する意識や行動から当病棟の課題・問題点を明らかにする。

II. 研究方法

1. 対象：NICU・GCU 医師8名、看護職39名
2. 期間：2012年6月～8月
3. 方法：独自に作成した質問紙を用い、FCCについてのアンケート調査を行った。

III. 結果

対象者は医師8名で有効回答数8名（100%）、

看護職39名で有効回答数36名（92.3%）であった。

問1のFCCという言葉について、「知っている」が30%であった。問2のFCCはNICU・GCUに必要だと思うかの問いに対して「よく思う」「そう思う」が100%であった。

FCCの4要素ができていないかの問いに対して、それぞれ「よく思う」「そう思う」と回答したのが、『尊厳・尊重』84%、『情報共有』57%、『参加』68%、『協働』66%であった。

問7、8の患者、家族について話し合う機会があるかの問いに対し、他職種とは「よく思う」「そう思う」が84%、同職種とは、「よく思う」「そう思う」が88%であった。

問11の家族とコミュニケーションをとっているかの問いに「よく思う」「そう思う」が86%であった。しかし、問12の家族とのコミュニケーションが苦手だと感じるかの問いでは「よく思う」「そう思う」31%、「どちらとも言えない」30%であった。

問10の家族との関わりにストレスを感じるかどうかとの問いに対し、「よく思う」「そう思う」が34%であった。また、問13で家族とうまく関われないと感じることがあるかという問いに対し「よく思う」「そう思う」が46%であった。その理由として問14では「自分の経験値」が52%と最も多く、次いで「時間」「業務量」「重症度」が多かった。「業務量」については看護職のみが回答していた。その他に「家族の性格」との回答もあった。

問15、16において家族との関わりに93%が喜びや楽しさを感じており、89%がやりがいを感じていた。

問17の家族から信頼されていると思うか問いに対し「どちらとも言えない」が60%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が19%であっ

た。

問18のFCCをより充実させるために必要だと思う項目では、89%が「チームワーク」と回答し、次いで「時間」「環境」「自分の経験値」と回答していた。また、「他職種との連携」との自由記載回答もみられた。

IV. 考察

FCCとは、子どもを含めた家族を一つのユニットと考えるケアの対象として捉えており、子どもの救命が中心であった時代のNICU・GCUでの治療・看護から、家族もケアの対象と捉える現在のNICU・GCUにおいて注目されている概念である。問1、2からFCCの認知度は低いが、対象者のほぼ全員がその必要性を感じているため、勉強会や事例検討会などによりFCCの知識を深める必要があると考える。

FCCの4要素の『情報共有』に関してはできているという回答率が低かった。その理由として、浅井の研究で、「日本のNICUでは、情報提供を主に医師など他の職種が担っており、看護職の情報提供者としての役割意識が低いことが考えられる。また、家族を支援する外部の資源（リソース）についての情報を看護師があまり持っていないことなども考えられる。」¹⁾と述べられているように、同様のことが考えられる。一方で医療者間でのコミュニケーションについては、問7、8で80%以上が取れていると回答していた。そこで、医療者が情報提供者としての役割をより認識し、医療者間のコミュニケーションをもとに家族と『情報共有』しながらフィードバックしていくことが必要であると考えられる。

問11、15、16で家族コミュニケーションを取っている、関わりに喜びや楽しさ、やりがいを感じている対象者は約90%であった。これは日頃から家族とコミュニケーションを取るよう心がける姿勢がうかがえる。一方で、問10、12で家族との関わりにストレスを感じる、コミュニケーションが苦手だと感じる対象者は約30%、問13で家族とうまく関わっていないと感じている対象者は約50%という現状が明らかになった。その理由として、私たちは危機的状況にある家族とのコミュニケーションスキル等を学ぶ機会が少なく、どのように家族に対応していいかわからないことも多く、家族の支援に困難さを感じていると考えられる。また、家族とうまく関われない理由として、「自分の経験値」が足りないと感じている医療者が最も多く、問17から

も家族との信頼関係に自信が持てない医療者が多いことが明らかになった。そのため、どのような時にストレスを感じるのか、対応に困った事例、やりがいや喜びを感じた事例について、医療者が思いを表出できる場を作ること、コミュニケーションスキルを磨く方法を検討すべきだと考える。

そしてFCCの充実のためには、問18で「チームワーク」の必要性を大多数が認識しているように、個々で家族と関わるのではなく、医療者で協力し合いFCCを行っていく必要があることが示唆された。現在当病棟ではFCCについての勉強会や臨床心理士、医師を交えたファミリーカンファレンスを実施し始めており、他職種間で事例検討、情報共有を行っている。今後は現在の取り組みに加え、今回の研究で明らかになった課題に対してよりFCCが浸透していくように検討を重ねたい。

また、本研究では経験年数による比較ができておらず、職種による対象者の偏りあり、比較の妥当性の検討に欠けている。今後は対象者の経験年数や職種の違いによる意識の違いを明らかにし、対象者の背景を考慮した課題・問題点を検討する必要がある。

V. 結論

1. NICU・GCUにおいてFCCは必要であり、勉強会などで知識を深める必要がある。
2. 医療者が情報提供者としての役割を再認識し、家族と『情報共有』を行う。
3. 経験の共有、コミュニケーションスキルの向上を図り、医療者のストレス緩和を図る必要がある。
4. 医師をはじめ他職種全員でFCCに取り組む必要がある。

引用文献

- 1) 浅井宏美：NICUにおける看護師のファミリーセンタードケアに関する実践と信念，日本新生児看護学会誌，15(1)，10-19，2009

参考文献

- 1) 木下千鶴：NICUにおけるファミリーセンタードケア，日本新生児看護学会誌，8(1)，59-67，2001
- 2) 木下千鶴：NICUにおけるファミリーセンタードケア，助産雑誌，64(3)，224-230，2010

<NICU・GCUにおけるファミリーセンタードケアに対する医師・看護師の意識調査>

図1

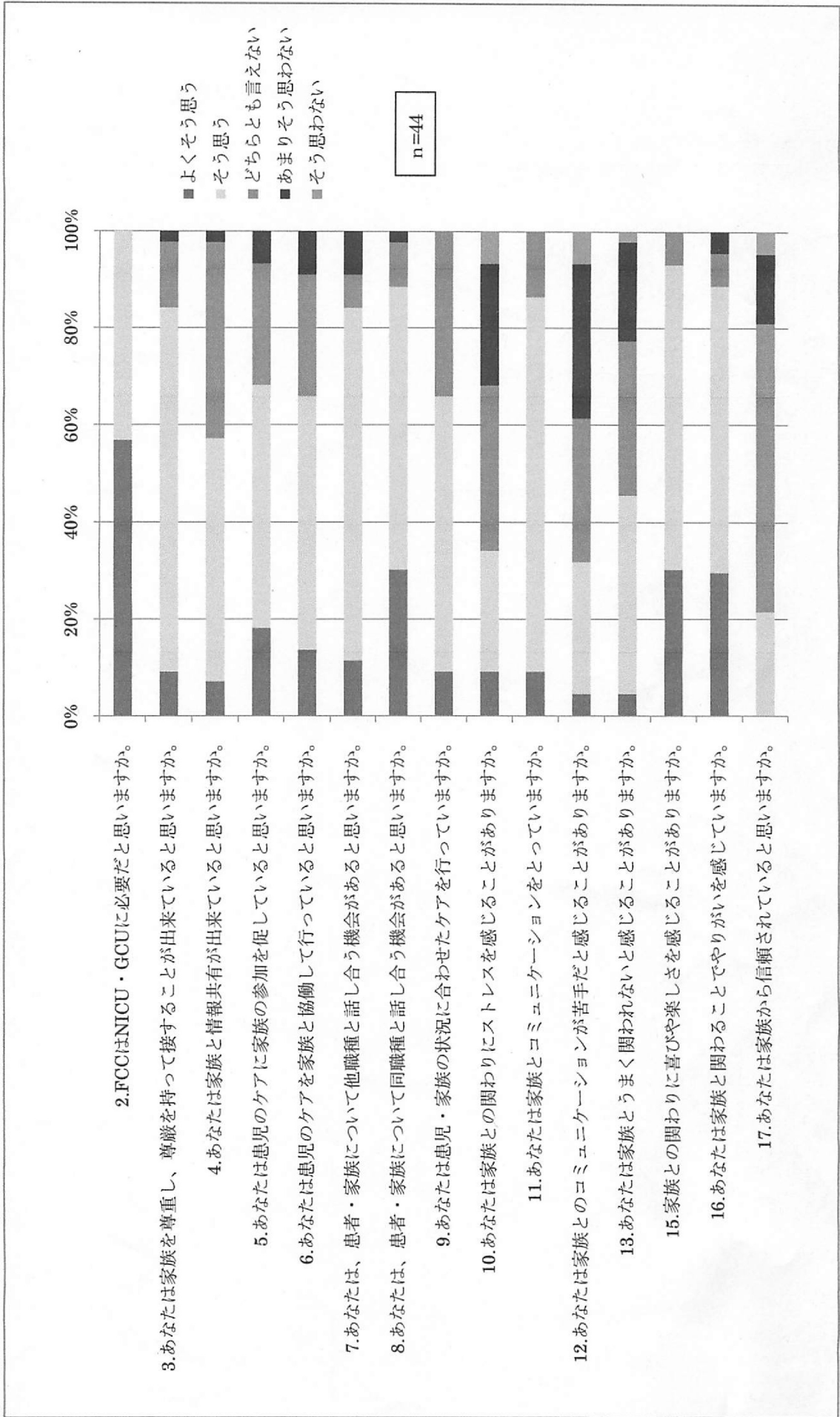


図2

1. あなたは、ファミリーセンタードケア(以下FCC)という言葉を知っていますか。

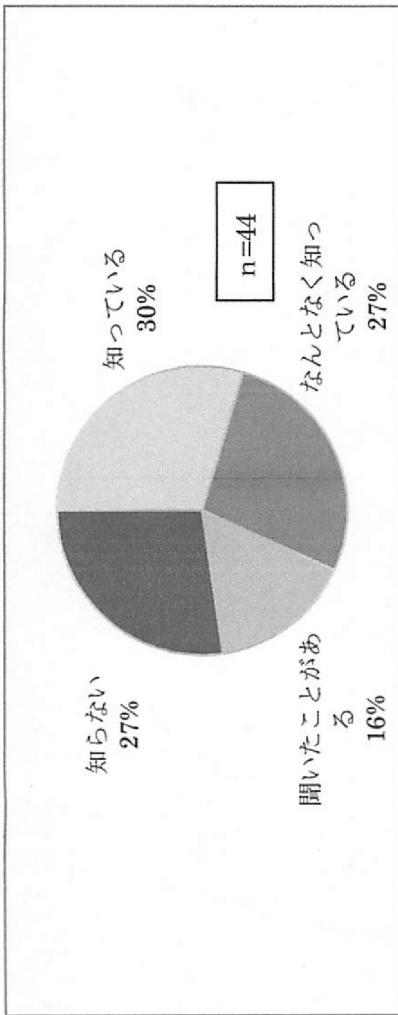


図3

14. 13において関われないと感じる理由として当てはまる項目に○をつけて下さい。(複数選択可)

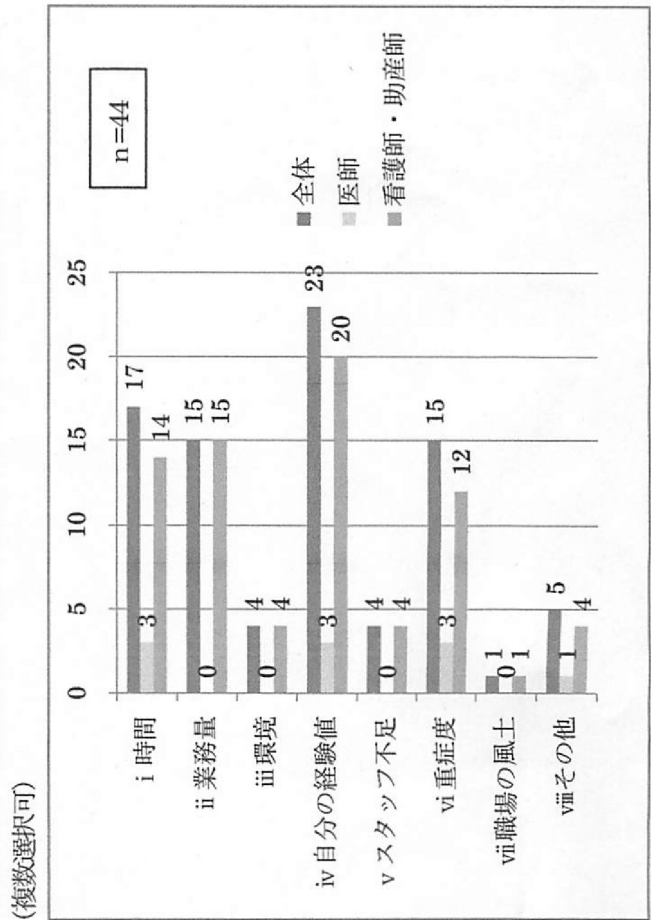
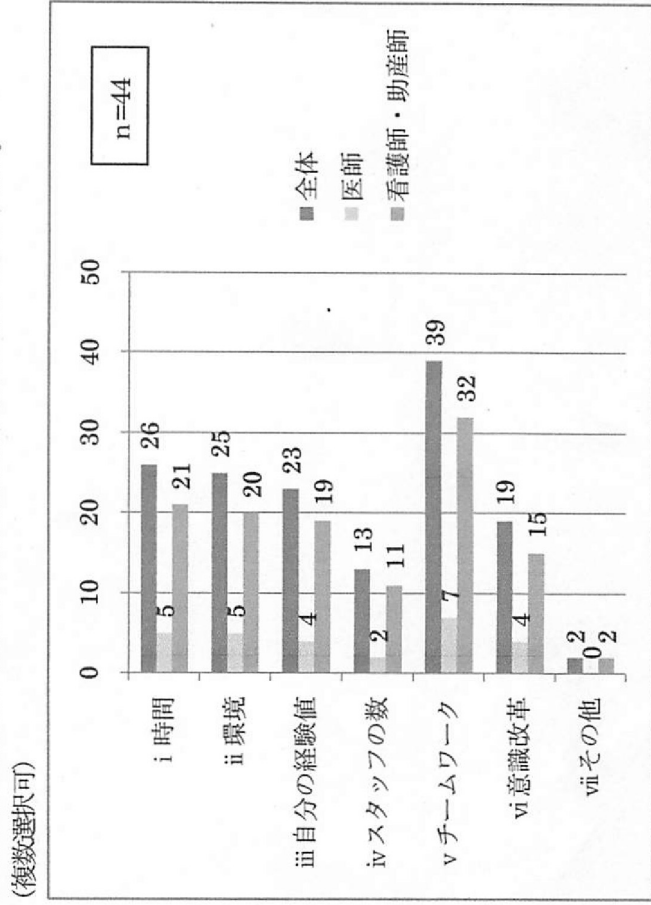


図4

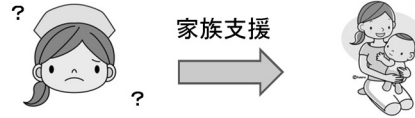
18. FCCをより充実させるために必要だと思う項目に○をつけて下さい。(複数選択可)



NICU・GCUにおける ファミリーセンタードケアに対する 医師・看護職の意識調査

○安藤菜摘紀
馬田麻友美 山本房美 鈴木文野
藤原かをる

はじめに



FCCを取り入れて子どもと家族を中心としたケアを提供したい！

ファミリーセンタードケア(FCC)とは

- ・医療者と家族は対等関係
- ・家族のニーズに基づき、子どもと家族を中心としたケア
- ・『尊厳と尊重』『情報共有』『参加』『協働』の4要素で構成

研究目的

FCCを取り入れ
より家族支援を充実させたい！



医師・看護職のFCCに対する意識や行動から
現状を把握し今後の課題を見出す

研究方法

- ・対象：NICU・GCU医師8名、看護職39名
- ・期間：2012年6月～8月
- ・方法：独自に作成した質問紙を用い、FCCについてのアンケート調査を行った。5段階評価とし、18項目の質問を設定した。



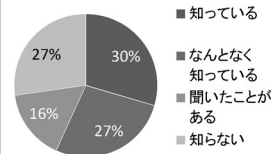
結果

- ・対象者は
医師8名で有効回答数8名(100%)
看護職39名で有効回答数36名(92.3%)

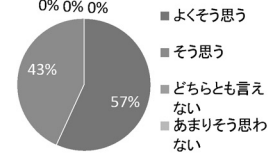


結果

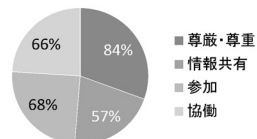
問1. FCCを知っていますか？



問2. FCCはNICU・GCUに必要ですか？

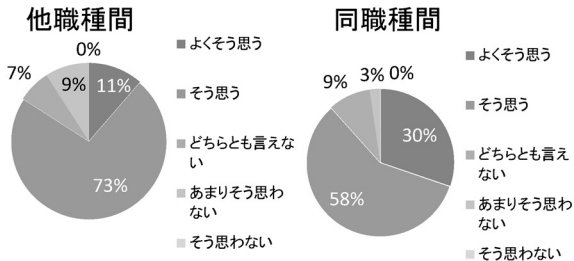


問3～6. FCCの4要素について



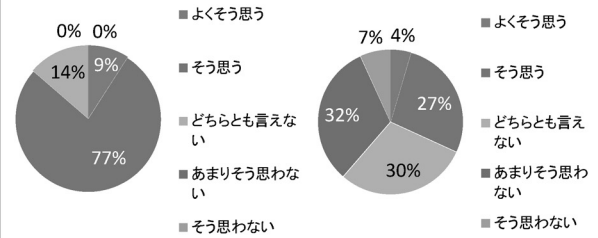
結果

問7. 8. 患者、家族について話し合う機会がありますか？



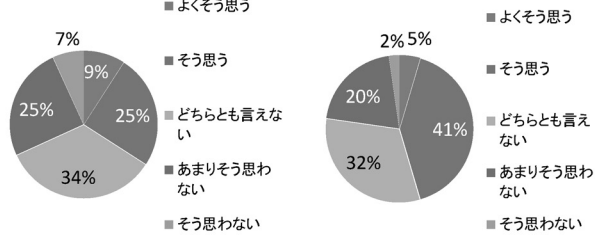
結果

問11. 家族とコミュニケーションを取っていますか？ 問12. 家族とのコミュニケーションが苦手だと感じますか？



結果

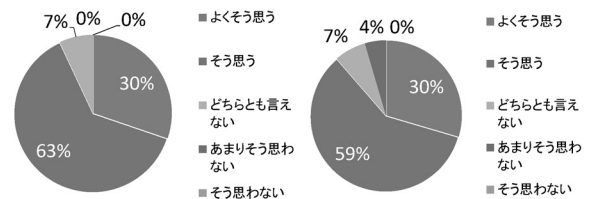
問10. 家族との関わりにストレスを感じることがありますか？ 問13. 家族とうまく関われないと感じることがありますか？



問14. その理由として『自分の経験値』が52%と最も高く、次いで『時間』『業務量』『重症度』

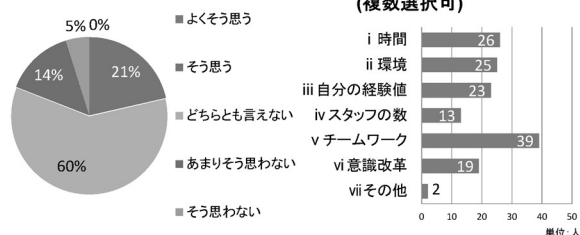
結果

問15. 家族との関わりに喜びや楽しさを感じることがありますか？ 問16. 家族と関わることでやりがいを感じていますか？

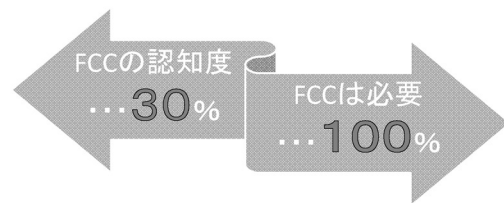


結果

問17. 家族から信頼されていると思いますか？ 問18. FCCをより充実させるために必要だと思う項目は？ (複数選択可)



考察



勉強会や事例検討会などによりFCCの知識を深める必要がある

考察

家族と情報共有
できている
・・・54%
⇒最も低い！

情報提供者としての
役割認識が低い？

家族を支援する
情報が少ない？

情報提供者としての役割を果たし、
家族と共有するという認識が必要

考察

・ 家族との関わりについて・・・

喜び
楽しさ
やりがい

うまく
関われない
ストレス

自分の経験値が足りない
信頼関係に自信が持てない

医療者のストレス緩和
コミュニケーションスキル向上

考察

・ FCCの充実のためには『チームワーク』が必要

FCCの勉強会

ファミリーケアカンファレンス

他職種間での
事例検討
情報共有

チームワーク

研究の限界

本研究では

- ・ 経験年数による比較が出来ていない
- ・ 職種により対象者数の偏りがある

対象者の背景を考慮した
課題・問題点の検討が必要

結論

1. NICU・GCUにおいてFCCIは必要であり、勉強会などで知識を深める必要がある。
2. 医療者が情報提供者としての役割を再認識し、家族と『情報共有』を行う。
3. 経験の共有、コミュニケーションスキルの向上を図り、医療者のストレス緩和を図る必要がある。
4. 医師をはじめ他職種全員でFCCIに取り組む必要がある。

ご静聴ありがとうございました。

